

すくすく



No. 5 令和3年9月15日(水)

身体測定の際に、みんなと一緒に考えました。

1. 2年生「ふわふわ言葉を見つけよう！」

「ふわふわ言葉」とは、言われてうれしい気持ちになったり、元気になったりする言葉のこと。

おはよう、かっこいいね、ありがとう、すごいね、ドンマイ！
上手だね、どうしたの、一緒に遊ぼう、大丈夫？、ごめんね、
がんばってね、いいよ、優しいね、またね



毎日の生活の中にある、たくさんのふわふわ言葉を見つけたね！



3. 4年生「ふわふわ言葉を伝え合おう！」



「徒競走で、一生懸命走って転んでしまっ
た子」に、あなただったらどんな言葉をかける
かな？

実際に言葉を伝える練習をしました。



5. 6年生「相手を意識した伝え方、聞き方をしよう」

担任の先生と玉村先生が会話する、2つの場面の違いを見て、“相手
を意識した伝え方、聞き方”について考え、意見を出し合いました。
テーマを選んで、相手の気持ちを思いやりながら友達と会話しました。



～大事なことは、これまでも今も同じ。コロナを防ぐために、広げないために～
学校でもおうちでも、みんなで心を合わせて続けていこう！

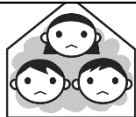
校長先生のお話「3つの“き”」覚えているかな？

「**き**より」人とのきよりに気をつけて、3密をさけよう！

むんむん

ぎゅうぎゅう

がやがや



ポイントは、教室の「床3マス分空ける」だね！

「**き**ちんとマスク」正しくつけよう！

はな
鼻とあごまで
ピタッ！



「**き**れい」手をていねいにあらおう！



⊕朝のおうちの健康観察を大切に。

生活リズムを整えて、健康な体をつくろう！
いつもと調子がちがうな、と感じたときは、
おうちで様子をみましょう。

“応急手当” とは?

けがをしたときに、自分でする簡単な手当てのこと。「自分の体を手当てできる」ことは、「自分の体を大切にすること」です。ちょっとしたけがを自分で手当てできると、かっこいいね!

けがをしたら、どうしたらよいか?

(1) 体のどこをけがしたか、血がどのくらい出ているかなどを、すぐに確かめよう。

軽いけがのとき

→すぐに自分でする手当てをして、先生に伝えて保健室に行こう。

お押さえても**ち**血が止まらない

あたま**う**頭を**た**打った

たか**と**ころ**お**高い**所**から**お**落ちた

→動かさなくて、すぐに大人の人を呼ぼう。



(2) 軽いけがのときは、“応急手当”をしよう。

クイズ!

どの手当てをする? 正しい「手当ての方法」を完成させよう!

～下の4つのけがを見て、手当ての方法(●、▲、◆、★)の中から、正しいと思う記号を選んで()に書こう～



①すりむいた()



②ぶつけた()



③鼻血()



④やけどした()

《手当ての方法》

●

すぐに水を流しながら痛みがなくなるまでよく冷やす。

▲

動かさず氷でよく冷やす。高く上げると痛みが軽くなるよ。

◆

水で、傷口やまわりの汚れを洗い流す。血が出ていたら、ハンカチなどで押さえる。

★

少し下を向いて、鼻の穴を指で強めに押さえる。